

経済産業省 情報化人材室長 夏目健夫様 ご挨拶

経済産業省情報化人材室長の夏目と申します。今日は大会にお招きいただきありがとうございました。IT コーディネータの方は、事業を目的として、また、勉強会という形で、全国で150以上の組織が活動していると聞いています。特に、今日お集まりの事業を目的としたIT コーディネータの皆様方が、日頃より持てる知識を生かして中小企業の方々のIT 経営をサポートして頂いていることに対して、経済産業省といたしましても深く感謝いたしております

さて、既にご承知の通り、政府が今年1月に公表した「IT 新改革戦略」、7月の「経済成長戦略大綱」でも、また、9月発足の安倍内閣でも、我が国が、少子高齢化社会を迎え、中小企業でも必要な人材確保できなくなる中で、IT を使って経営革新を図り経営効率化を図っていくことが緊急の課題と指摘しています。

その中であって、経済産業省では、平成16年度から3カ年限定の事業として「IT 経営応援隊」という事業を行ってきました。本来18年度が最終年度という予定であったのですが、今年に入って、「IT 新改革戦略」を始め政府全体として、中小企業のIT 化が十分でなく継続するべきという方針が出てまいりましたので、平成19年度以降も引き続き「IT 経営応援隊」という名前を使って、中小企業のIT 化に取り組んでいくことを予定しております。

平成19年度から展開する「IT 経営応援隊」の事業は、今までの3年間で経営者に“気づき”を与えるということが大きな目的としておりましたが、平成19年度以降は、気づきだけではなく、経営課題に気づいた方が実際にIT 経営を実践していただくところまで支援をしていきたいと考えています。このため、IT コーディネータの皆様には、より一層、私どもの事業に協力していただきたいと思っておりますし、また、皆様のご努力あるいは我々に対するご支援の成果が、今まで以上に外に見えるような形にしていこうとも考えています。

最後になりますが、ITSSP 事業の時代には、政府主導で中小企業のIT 化支援を進めて参りましたが、IT 経営応援隊では、政府だけでなく民間の活力も活用しながら、協力・連携して中小企業のIT 経営を支援していこうとしています。

しかし、今日の大会テーマとなっている「IT 経営キャラバン隊」は、民間が発意して、民間の力だけで中小企業のIT 化を進めていくという非常にユニークな、我々にとってもありがたい事業です。いつまでも政府が各種のサポートをしていくことは難しいので、民間の方々が自主的に中小企業のIT 経営をサポートしていくことができれば、本当にありがた

いと思います。

IT 経営キャラバン隊は、12月13日に九州の行橋市で出陣式が行われます。当省の山本幸三副大臣も参加させていただきます。そういう形で、経済産業省もIT経営キャラバン隊を全面的にバックアップして参ります。今日のパネルディスカッション、どうやってIT経営キャラバン隊を使うかというのは、非常にいいテーマだと思います。IT経営キャラバン隊、IT経営応援隊とも、「IT経営」という同じキーワードを使っており、目指す目標は同じですので、今後両事業がよく連携して、大きな成果を上げていければと考えており、その意味で、経済産業省としましても、このキャラバン隊事業を支援して参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

以上